

# 徳島県立富岡東高等学校羽ノ浦校 総括評価表

重点課題	重点目標	自己評価		評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
		評価指標 (と活動計画)	評価	評価指標による達成度	総合評価		
Ⅲ 挨拶, 言葉遣い, 礼儀作法, 時間やマナーを守る態度と好ましい人間関係を育成し, 看護師として必要な資質の向上を図る。	《全校レベル》 基本的な生活習慣の確立をめざし, 挨拶の励行や望ましい言葉遣いや態度, マナーを身に付けさせる。 《下位組織レベル》 ①毎学期の生活目標を持たせ, 主体的に行動できるようにする。[各HR担任, 生徒指導課] ②「服装・マナーアップ週間」を設定し, 頭髪服装指導に取り組むとともに, 相手や場に応じた言葉遣い, 礼儀, 挨拶, マナーについて自己評価させ, 適切に対応できるよう指導する。 [生徒指導課] ③生徒会や生活委員等によるあいさつ運動を積極的に展開する。 [生徒指導課・特別活動課・人権教育教育相談課] ④いじめの未然防止, 早期発見に努める。 [生徒指導課] ④防災教育の充実を図り, 災害から身を守り, 自らの安全を確保するための行動ができる能力を育成する。 [環境防災課]	<b>評価指標</b> ①学期目標の自己評価の「できた」が平均85%以上。 ②各学年で, 毎月服装・頭髪指導を実施し, 指導を受ける生徒が5%以内。 ③挨拶や会釈ができる生徒が90%以上。 ④適切な対応ができ敬語が使える生徒が90%以上。 ⑤いじめに関して相談があった場合は, 必ず対応する。 ⑥スクールカウンセラーと連携を図り, 生徒の悩み等の支援体制を整備する。 ⑦防災訓練を年3回行い, 生徒全員が適切な避難行動ができる。 ⑧専攻科において, 自主・自律的に身だしなみについて考え, 行動できたと自己評価した生徒が90%以上。	<b>活動計画</b> 生徒指導やマナー指導について, 全教職員で共通理解のもと, 協力して取り組む。 教育相談支援体制の強化を図り, 生徒が, いろいろな悩みについて相談しやすい環境を整備する。 ①HR活動のテーマに, 「パブリックマナー」を取り上げ, 意識の向上や強化に努めるとともに, 実践力の向上を図る。 ②遅刻回数や欠席回数の月別累積をし, 結果をもとに指導する。 ③生徒会役員や生活委員等を中心に「あいさつ運動」を行う。 ④TPOに応じた礼儀や言葉遣いの指導を行う。 ⑤教員から生徒への声かけや「ながらカウンセリング」を充実させる。 ⑥専攻科においては, 看護科で身につけた身だしなみやマナーをさらに向上させる。	<b>評価</b> ① 1学期生活目標は「明るい笑顔で挨拶をしよう」97%ができた。2学期生活目標は「規則正しい生活を送る」88%ができた。 A ② 頭髪・服装検査を1月までに10回行った。指導を受けた生徒は1%未満であった。「爪を短く切りそろえておく」は7%が指導を受けた。 B ③ 挨拶や会釈ができると答えた生徒は91.6%であった。適切な言葉遣いができると答えた生徒は89.2%であった。 B ④ いじめ体罰アンケート(年間3回)には, 申し出が無かったが, 生徒からの相談には真摯に対応した。 A ⑤ スクールカウンセラーを毎月1回配置し, 特別支援コーディネーターと連携し効果的な相談支援体制ができています。 A ⑥ 防災訓練を各学期に実施し, 適切な避難行動ができ, 防災学習ができた。 A ⑦ 専攻科生としての身だしなみや行動についてアンケートを実施し, 95%の生徒ができたと回答した。 A	<b>総合評価</b> B (所見) 基本的な挨拶や言葉遣い等は, ほとんどの生徒ができています。しかし, 臨機応変にその場に応じた行動は不十分な面もある。また, 接遇の重要性を更に認識していかなければならない。	一変通りの挨拶や礼儀作法の指導にとどまらず, 自分らしさを生かした, また臨機応変に対応できる行動が取れるような指導であって欲しい。 登下校時の交通事故が無いように安全教育も継続していただきたい。 防災訓練は地域と連携した訓練ができていますので今後も継続していただきたい。	信頼できる人間関係を構築するために必要なマナーを考えさせながら, 挨拶や言葉遣いの指導を行っていく必要がある。また, 学校生活では自分の考えや意見を表現し, 友人関係が構築できるようにサポートしていく。

